

独立行政法人国立美術館仮想サーバ基盤 調達仕様書

独立行政法人国立美術館は令和 7 年度においてもホームページ、検索サービス等のインターネット公開を安全かつ安定的に継続するため、以下の要件を満たす仮想化環境を調達する。現在の公開サーバ、ホームページ上のすべてのコンテンツ、検索サービスにて検索可能なすべてのデータ等に移行し、令和 7 年 4 月 1 日以降のサービス提供を維持すること。

1. 仮想化環境に関する要件

- ① VMware 仮想化環境(VMware vSphere ESXi 6.5 以上)または同等以上の機能を有する仮想化環境を提供すること
- ② 仮想化環境の基盤となる ESXi サーバ(または相当するサーバ)は 2 台構成とすること。
- ③ 仮想化環境において vCenter また同等以上の機能による管理者権限を提供すること。
- ④ 仮想化環境上の各仮想化ホストはグローバル IP アドレスを有し、インターネット上のホストと通信可能であること
- ⑤ 仮想化ホストの OS として、主要な Linux ディストリビューション (Ubuntu、Fedora、CentOS 等) のインストールが可能であること
- ⑥ 仮想化環境の管理のためのウェブインターフェースが提供されていること
- ⑦ 仮想化環境のメモリ、ディスク容量を増減するためのウェブインターフェースが提供されていること
- ⑧ 仮想化環境のメモリ、ディスク容量の最短利用期間が 1 日単位であること
- ⑨ 仮想化環境は仮想ホストのイメージをファイルとしてエクスポートできること
- ⑩ 仮想化環境は当該仮想化環境で使用可能な仮想ホストのイメージをインポートし、稼働させることができること
- ⑪ 仮想化環境上の仮想化ホスト間の通信が可能であること
- ⑫ 複数の基盤サーバ間で仮想化ホストの移動が可能であること
- ⑬ 複数の基盤サーバによる冗長化された構成が可能であること
- ⑭ 予備サーバを含む基盤サーバの冗長構成において、ストレージを除く部分の稼働率が 99.99%以上であることを保証すること
- ⑮ 仮想化環境上の仮想化ホストがインターネット接続する際、ファイアウォールによるアクセス制限等の保護を行うこと
- ⑯ ファイアウォール機能の帯域幅は 1Gbps 以上であること

2. 仮想化環境を稼働させるための基盤サーバに関する要件

- ① 16 コア以上のプロセッサを有すること
- ② 128GB 以上のメモリを有すること
- ③ 1TB 以上のストレージを有すること
- ④ 1Gbps 以上の転送速度のネットワークインターフェースを 4 ポート以上有すること

3. 仮想化環境に付帯するサービスに関する要件

- ① 仮想化環境上で公開する仮想サーバをはじめとするサーバについて、名前解決を行うための DNS サービスを提供すること
- ② 公開サーバに用いるドメイン名を維持するためのサービスを提供すること。対象とするドメイン名は artmuseums.go.jp、momat.go.jp、momak.go.jp、momak.ne.jp、nmao.go.jp、nact.jp、campusmembers.jp とする。(京都国立近代美術館のみ歴史的経緯により momak.ne.jp が存在する。)

4. 仮想化環境が設置されるデータセンターに関する要件

- ① FISC 準拠の施設であること
- ② ISO/IEC27001 認証を有する施設であること
- ③ 本線・予備線と冗長化された受電設備を有すること
- ④ 24 時間以上電源供給可能な自家発電設備を有すること
- ⑤ 停電時には UPS による電源バックアップと自家発電設備への自動切換えを行うこと
- ⑥ 物理サーバが 24 時間 365 日安定稼働する空調設備を有すること
- ⑦ 震度 7 クラスの地震にも耐えうる耐震もしくは床免震構造を有すること
- ⑧ 窒素ガスまたはハロンガス消火設備を有すること
- ⑨ 施設内への無断立ち入り等を防ぐために、機械警備のほか、24 時間 365 日の有人監視体制を有すること
- ⑩ データセンターの設置位置は日本国内であること
- ⑪ データセンターの設置位置の近隣に活断層が発見されていないこと
- ⑫ データセンターの設置位置は地震発生時における地盤液状化の危険性が少ないこと
- ⑬ データセンターの設置位置は大雨等による水没の危険性が少ないこと

5. サービス及びサービス提供者に関する要件

- ① サービス提供者は別紙のサーバ群の継続的な公開を実施すること
- ② サービス提供者は基盤サーバ、データセンターの安定稼働に努め、障害が発生した場合には速やかに復旧作業を行うこと
- ③ サービス提供者は仮想化環境の運用について、必要に応じて、適切な助言または本調達外の費用発生を伴う運用支援を行うこと
- ④ サービス提供者は基盤サーバ、データセンターについてセキュリティ管理を行い、情報セキュリティの実現に努めること
- ⑤ サービス提供者は ISO/IEC27001 を取得していること
- ⑥ サービス提供者はプライバシーマークを取得していること
- ⑦ サービスは ISO/IEC27017 を取得していること
- ⑧ サービスは SOC1 type2 及び SOC2 type2 報告書を取得していること
- ⑨ サービス提供者は ISMAP に掲載されていることが望ましい。
- ⑩ サービス利用に関する適用法は日本国内法であること

以上

(別紙) 公開サーバー一覧

法人ウェブサイトメイン
法人ウェブサイトスタンバイ
法人ウェブサイトステージング
法人共通アクセス分析 matomo
東近美ガイドスタッフ用システム
図書館システム データベース
図書館システム OPAC (東京国立近代美術館)
図書館システム OPAC (国立新美術館)
図書館システム OPAC (国立映画アーカイブ)
図書館システム OPAC (国立工芸館)
図書館システム バックアップ
サイバーセキュリティ訓練用メールサーバー
新美ウェブサイト CMS
新美ウェブサイトメイン
新美ウェブサイトスタンバイ
新美ウェブサイトステージング&バックアップ
新美 CONIC
新美 CONIC ステージングサーバ
映画アーカイブ NFAD 補助ツール
映画アーカイブ所蔵映画フィルム検索システム
映画アーカイブ映画関連資料デジタルアーカイブ関連システム
映画アーカイブウェブサイト公開サーバ
映画アーカイブウェブサイ CMS サーバ
鑑賞素材 BOX
NCAR ウェブサイトメイン
NCAR ウェブサイトステージング
NCAR ウェブサイト CMS